

# 会 議 録

## 1 会議名

令和6年度第7回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○諮問事項（公開）

・諮問第99号 川上笑学館の廃止について

### ○報告事項（公開）

・牧湯の里深山荘の今冬の営業について

### ○自主的審議事項（公開）

・あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

## 3 開催日時

令和6年12月17日（火）午後6時30分から午後7時55分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山会長、清水副会長、飯田委員、池田委員、井上委員、梨本委員、西條委員、羽深委員、宮内委員、横尾委員、和久井委員

・担当課等：農村振興課 志賀課長、横尾管理係長、板倉区総合事務所 佐藤産業グループ長（以下、グループ長はG長と表記）

・事務局：牧区総合事務所 小林所長、岩崎次長、佐々木市民生活・福祉G長兼教育・文化G長、小暮地域振興班長、霜越地域振興班主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【岩崎次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認し、会議の成立を報告

【西山会長】

・挨拶

【小林所長】

・挨拶

【西山会長】

・会議録署名委員として西條委員を指名

諮問事項 諮問第99号 川上笑学館の廃止について、農林水産部農村振興課から説明をお願いします。

【志賀課長】

・資料No. 1に基づき、川上笑学館の廃止について説明

【西山会長】

今ほどの説明で、質問等があればお願いします。

【横尾委員】

川上地区の住民の代表としてお願いしたい。川上笑学館の開設の際に、川上笑学館がグリーンツーリズムの施設として利活用が進むよう、体育館を壊さずに残していただいた経緯がある。今は、川上笑学館は市の財産で、川上会館は川上地区の財産であるが、これまで地区内では一体的に利活用を考えてきた。もし、川上笑学館の建物を取り壊すことになったときは、川上会館も一体的に検討してほしい。

【池田委員】

横尾委員に同感である。

【志賀課長】

今回は川上笑学館の条例を廃止することについてご意見をお聴きしているものであり、すぐに施設を取り壊すというわけではない。また、川上会館は登録有形文化財でもあり、処分に当たっては教育委員会とも協議をしていただかなくてはならない。地域から、そのような声があることは承知した。

【西山会長】

他に質問等はないか。

(質問等なし)

他に質問等がないようなので、諮問第99号川上笑学館の廃止については、地域住民の生活への支障はないものとしてよいか。

(異議なし)

それではそのように答申する。なお、市長への答申文書の作成と提出は正副会長に一任いただくことし、内容は次回の会議で報告させていただくことでよろしいか。

(異議なし)

それでは、そのようにさせていただく。

以上で、諮問事項を終了する。

(農村振興課退席)

続いて、報告事項 牧湯の里深山荘の今冬の営業について、事務局から説明をお願いします。

【佐藤G長】

・資料 No. 2に基づき、牧湯の里深山荘の今冬の営業について説明

【西山会長】

今ほどの説明で、意見や質問等があればお願いします。

(質問等なし)

質問等がないようなので、報告事項を終了する。

続いて、自主的審議事項 あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について、事務局から説明をお願いします。

【小暮班長】

・資料 No. 3に基づき、あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について説明

【西山会長】

本件については、9月の第5回会議において清水副会長から提案説明をいただいた経緯があるので、まず、清水副会長から補足や意見をいただく。

【清水副会長】

12月12日に有志のメンバーが集まり、第6回目の検討会を行った。農業については、今まで精一杯やってきたが、これからは生産条件の悪いほ場は耕作を続けられない

との声が出された。また、牧区の農業法人や生産組合の中には、組織を維持できず、今年をもって解散するとの声もあった。

検討会では、「今まで精いっぱいやってきたのに、まだこれから何かやらなければいけないのか」という声もあったが、このままだと地域がつぶれてしまいかねない。牧区の農業・林業を次世代につなぐ方法を、地域協議会で協議しながら模索していきたい。

一方では、新しく若者が活動している団体「まきにいる」が生まれ、米作りや販売に挑戦したいという人が出てきている。そういう人たちの意見も聞き、応援しながら対応していきたいので、いろいろな組織と話合いの場を設けてはどうかと思う。

**【西山会長】**

それでは、意見や質問等があればお願いします。

**【横尾委員】**

説明では資料 No. 3 の 6 ページに組織化や取組の例が挙げられたが、牧区では、具体的にこのような団体が当てはまるなどの整理はされているのか。

**【小暮班長】**

今回の資料は、これまでの事例などを基に制度の枠組み等を例示したもので、具体的に誰がなどは当てはめていない。牧区では「農業・林業」「体験・移住」「外出支援」の 3 本柱が課題解決のテーマに挙げられているが、牧区内にはいろいろな人物や団体があり、そのピースをこの枠組みに当てはめていくとどのような形になるのかを、地域協議会で議論していくことになると考えている。

**【横尾委員】**

自分も今は頑張っているが、誰にバトンを渡そうかなと考えている。農業では昨今の異常気象も重なり、くじけそうになることもある。

**【小暮班長】**

必要な取組をしようとする方がしっかりと取り組んでいけるようにしていくためには、どのような下支えが必要かを考えていくことが重要だと認識している。

**【横尾委員】**

農村RMOの検討を進めていく上で、コンサルタント等から外部支援を得ることはできるのか。

**【小暮班長】**

農村RMOの設立に向けた国の支援策があり、コンサルタントを招いて指導や助言を受けることもできる。ただし、その支援策を活用する場合は、ただ検討をするだけではなく、ビジョンを作り、組織を形成し、支援期間が終わった後にはRMOとしてきちんと組織化された状態になっていなくてはならない。支援策の活用ありきではなく、まずは、いろいろな話を深めていくことが必要である。

**【西山会長】**

他に質問等はないか。

**【井上委員】**

今何が必要か考えたときに、組織化するとしても、その人員を集めることが大きな課題だと思う。去年までいろいろな団体から話を聞いたが、協力するにはまだ早い段階だと話していた。

**【小暮班長】**

委員のおっしゃるとおり、課題はマンパワーだと考える。牧区の皆さんは、それぞれ様々な取組を行っているが、本当はここまでやってみたい、しかし実は手が足りずにできていない、などの声があるかもしれない。そのような方々が、どのようになったらより良い活動ができるかを、地域協議会で議論していただくことが必要だと考える。

**【横尾委員】**

集落営農の考えの根底は、農家も非農家も集落を形成している同じメンバーだから、一緒になって農業をしていこうというもの。集落を牧区全体に置き換えた拡大版と解釈すればいいのではないか。牧区としてみんなで取り組んでいくためには、どうしたらよいかを考えていきたい。

**【清水委員】**

今までは集落単位の動きで済んでいたものが、それでは賄いきれなくなってしまった。

**【西條委員】**

先ほど清水副会長の発言で牧区の若い人たちが動き始めているという話があったが、これについて初めて知ったので詳しく教えてほしい。

**【佐々木G長】**

個人的に関わりがあるので、私からお話しさせていただく。昨年度、地区別まちづく

りワークショップで若者が集まったときに、このままで終わるのはもったいないので何か行動を起こしてみようということになり、20代から50代までの9人で結成した。現在の牧区の農業の中心は60代、70代なので、まだ手伝いをしている程度の世代だが、この世代でも何かしていかななくてはという思いがある。

世代間で、自分たちにはこんなことができるが、逆にこんなことが困っているというような内容の意見交換ができると良いと思う。

**【西條委員】**

9人は、どのように集まったのか。

**【佐々木G長】**

そのほとんどがまちづくりワークショップに参加したメンバーであり、「何かしなければいけない」という思いのもと、自発的に集まったもの。牧区では、これまでにいろいろと話し合いをしても実行に移せずに終わっていたが、このメンバーでは、どんなことでもいいから動いてみようということで、手探りだが組織化して、取り組み始めている。

**【西條委員】**

たとえ9人でも、そういう思いを持って動いてくれる人がいてありがたい。せっかく新しい組織を作って牧区で一丸となってやっつけようとしても、リタイアを考えている人から反対意見が出て台無しになってしまう可能性がある。ベテランの人には、これまでの経験で培ってきた知恵を出してもらい、次世代の人が実際に動いていくというのが良いと思うので、若い人たちの意見を聴く機会を設けてはどうか。

**【西山会長】**

他に意見等はないか。

**【飯田委員】**

私も清水委員と一緒に会に参加しているメンバー。農村RMOは難しい取組だと思うが、自主的審議の中には「農業・林業」、「体験・移住」「外出支援」の柱があり、それを進めていけば農村RMOに最終的に行きつくものでないかと思う。この話は、1回や2回勉強しただけでは分からない難しい問題だが、地域協議会で引き続き審議していくことでよいのではないか。

**【小林所長】**

皆さんから出た意見に基づき、次回以降、関係組織との意見交換の実施に向けて、対

象団体や順番などを次回の協議会で報告することとしたい。

**【西山会長】**

他に意見等はないか。

(意見等なし)

他に意見等がないようなので、自主的審議事項を終了する。

その他連絡事項について、事務局から説明をお願いします。

**【霜越主事】**

- ・次回の協議会：1月21日（火）午後6時30分～
- ・地域協議会だより第62号の発行（文書配布）
- ・令和6年度の除雪計画書（文書配布）
- ・路線バスなどの運賃改定について（文書配布）
- ・令和6年度 灯の回廊「まき深山のともしび」について（文書配布）

**【西山会長】**

本日予定していた案件は全て終了した。清水副会長に閉会の挨拶をお願いします。

**【清水副会長】**

- ・挨拶後、会議の閉会を宣言

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：[maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください